

■ 笛吹・甲州・山梨エリア



えい しょう いん
永昌院

永正元年(1504)に武田信昌(信玄の3代前)が名僧・一華文英禪師を迎えて開基した。甲州・武州にかけて96の末寺を有する曹洞宗常法幢七刹の一つとして栄えた。江戸中期までは修行所として常に80人ほどの修行僧が住んでいたという。近くには新日本三大夜景に選ばれた笛吹川フルーツ公園がある。

- 山梨市矢坪1088
- 0553(22)2179
- 県指定文化財：銅鐘、絹本着色神嶽通龍禪師画像



永昌院の伽藍



ちよつとより道

永昌院から4km くだものテーマパーク
笛吹川フルーツ公園

山梨市江曾原1488 ☎0553(23)4101



せい ぱく じ 清白寺

正慶2年(1333)、夢窓国師の開山、足利尊氏の開基という。仏殿は石組みの基壇の上に桧皮葺きの入母屋造り、軒は曲線が二重になっていて、禅宗様建築独特の美しさがある。境内には夢窓国師が中国から持ち帰ったという西湖梅も。

■山梨市三ヶ所620
■0553(22)0829
■国宝:仏殿 重文:庫裏

山梨のお寺メモ

【開山と開基】

その寺院を創建した僧のことを開山という。その寺院を開くにあたり経済的、政治的に支援した者を開基と呼ぶ。



おおいまたくぼはちまんじんじゃ 大井俣窪八幡神社

貞勸元年(859)、清和天皇の勅願により創建。甲斐源氏の崇敬篤く、武田信玄もたびたび戦勝祈願をしている。境内に若宮八幡、武内大神、高良神社、比咩三神など摂社・末社が並び、いずれも重文に指定されている。

■山梨市北654
■0553(23)5390
■重文:本殿、拝殿、神門、鳥居 ほか摂社・末社に5件 県指定文化財:鐘楼、如法経塔、木造狛犬、紙本墨画淡彩窪八幡神社境内古絵図





きちじょうじ 吉祥寺

承元年間(1207~10)、武田信光が甲斐源氏守護のため建立、毘沙門天像を安置したという。信玄が永禄8年(1565)に堂宇を再建したと棟札に残る。欄間には武田百足衆(伝令隊)ゆかりの大ムカデの彫刻が。

- 山梨市三富徳和2
- 0553(39)2757
- 県指定天然記念物:新羅ザクラ



どううんじ 洞雲寺

甲斐源氏の一族、安田義定は建久5年(1194)、源頼朝に討たれた。自刃した三男・安田義安を弔った安養寺を、豊臣秀吉の武将・加藤光泰が洞雲寺として開基した。本堂前には珍しいヤツサノウメ(八房の梅)がある。

- 山梨市牧丘町北原1117
- 0553(35)3978
- 県指定天然記念物:八房のウメ



なかまきじんじゃ 中牧神社

日本武尊の東征の際に開かれたと社記に残る。祭神は埴安姫神。本殿は文明10年(1478)の建造と棟札にあり、以後、修理の際の棟札が全て残されている。簡素な素木造の中に中世建築として上品な美しさがある。

- 山梨市牧丘町千野々宮576
- 重文:本殿



ほうこうじ 放光寺

甲斐源氏・安田義定が元暦元年(1184)に開いた安田一門の菩提寺。古くから真言密教の道場として隆盛を極めた。「花の寺」とも呼ばれる。甲斐百八霊場を巡る「甲州巡礼の集い」を主催、寺内に事務所がある。

- 甲州市塩山藤木2438
- 0553(32)3340
- 重文:木造大日如来坐像、木造不動明王立像、木造愛染明王坐像、木造金剛力士立像
- 県指定文化財:銅鐘、紙本墨書大般若経

👉 P 32



まんぶくじ 万福寺

聖徳太子の命を受けた調子磨が甲斐を訪れ開いたという。その後、法相・天台・真言の三宗兼学道場だったが、鎌倉期に浄土真宗となり、中本山(触頭)として栄えた。境内の馬蹄石は聖徳太子が乗った黒駒の蹄の跡だという。

- 甲州市勝沼町等々力1289
- 県指定天然記念物:ムクノキ



- 弁財天 大善寺 甲州市勝沼町
- 布袋尊 福蔵院 甲州市塩山
- 寿老人 神宮寺 山梨市北
- 福祿寿 龍光院 甲州市塩山
- 大黒天 放光寺 甲州市塩山
- 恵比寿尊天 圓照寺 山梨市牧丘町
- 毘沙門天 吉祥寺 山梨市三富



ながとじんじゃ 那賀都神社

西沢溪谷に近く、社殿を囲む松林は霊山の趣き深い。日本武尊の東征に始まり、役行者が道場として開いた山岳信仰の霊場。奥宮は国師ヶ岳天狗尾根にある。近年は子宝祈願の参拝者が増えているという。

- 山梨市三富上釜口617
- 0553(39)2825
- 駐車場から徒歩20分



うんぼうじ 雲峰寺

天平17年(745)、行基が開いたとされる。武田家代々の祈願所。石段の途中に仁王門があり、本堂の右手に庫裏と宝物殿がある。武田勝頼が敗没したとき、家臣に託した日本最古の「日の丸の御旗」などを収蔵する。

- 甲州市塩山上萩原2678
- 0553(33)3172
- 重文:本堂、庫裏、書院、仁王門
- 県指定文化財:日の丸の御旗、孫子の旗(風林火山の旗)ほか2件、県指定天然記念物:雲峰寺のサクラ
- 宝物殿:一般300円



えりんじ 恵林寺

元徳2年(1330)、夢窓国師が開き、その後武田信玄が菩提寺とした。天正10年(1582)、押し寄せた織田軍に火を放たれた快川紹喜は「心頭滅却すれば火も自ずから涼し」という言葉を残した。信玄公宝物館を併設。

- 甲州市塩山小屋敷2280
- 0553(33)3011
- 重文:四脚門、短刀、太刀
- 県指定文化財:三門、孫子の旗、諏訪神号旗、夢窓国師坐像ほか6件、国指定名勝:庭園
- 県指定史跡:武田晴信の墓
- 拝観料(庭園):大人300、小中高100円、信玄公宝物館:大人500、高400、小中100円。共通券あり。

ちよつとより道


恵林寺東地蔵堂 よもぎ団子



甲州市塩山小屋敷2288-4
☎0553(33)5429

放光寺の愛染明王坐像


宝物殿に収められている重要文化財の天弓愛染明王坐像。平安時代に造られた像で、愛染明王像としては日本最古といわれる。愛染明王は弓矢を使って人々に愛と尊敬の心を与え、幸運を授ける仏様で、恋愛成就の御利益があるという。

P 31 



放光寺の大日如来坐像

宝物殿に収められている重要文化財の大日如来坐像。これらの仏像は甲斐源氏・安田義定が京都から移したものだという。

P 31 

慈雲寺のイトザクラ

花の寺として知られる慈雲寺のイトザクラは樹齢およそ330年といわれ、山梨県の天然記念物に指定されている。

 P 36





慈雲寺

暦応年間(1338~42)に夢窓国師によって開かれた。江戸時代末期から寺子屋や学校をつくり地域の教育に貢献した。「花の寺」としても知られ、枝張り20mのイトザクラが花開くと花見に訪れる人々やカメラマンでにぎわう。

- 甲州市塩山中萩原352
- 0553(33)9039
- 県指定天然記念物:イトザクラ

P 34

樋口一葉の父が学んだ私立山梨里仁学校

慈雲寺では、江戸時代末期、当時の任職・白巖はくがんが寺内で寺子屋を始めた。のちに樋口一葉の父もここで学んだ。明治20年(1887)には本堂内に学校を開き、これが明治40年に「私立山梨里仁学校」となり、場所を移して第二次大戦終了まで続いた。

境内には樋口一葉の文学碑と、眞下晩松ましもばんすうの碑がある。晩松は慈雲寺のある中萩原の農民の出身で、徳川幕府に仕えて5千石の要職となり、慶応4年(1868)には陸軍奉行並支配に任ぜられた人物。一葉の父も、晩松を慕って江戸に出た。

一葉の文学碑は、大正11年(1922)に建てられたもので、幸田露伴が碑文を書き、坪内逍遙、与謝野晶子、森鷗外、田山花袋など近代文学の著名人が賛助者に名を連ねている。

菅田天神社の随神門

甲州市塩山の市街地ありながら、静謐なたたずまいをみせる菅田天神社には、新羅三郎以来、甲斐源氏の鎮守とされ武田家に伝わる重宝「楯無鏡」(国宝)が保管されている。

P 39





栖雲寺の木造普応国師坐像
栖雲寺に数ある寺宝の一つ。
宝物館の拝観には事前の予約が
必要。



せい うん じ 栖雲寺

中国・天目山で普応国師に学んだ業海本浄が貞和4年(1348)に開山した。武田家の菩提寺として繁栄、信満の墓がある。裏山の斜面には業海和尚が自然のままの岩を活かして築いた庭園がある。県指定名勝。

- 甲州市大和町木賊122 ■0553(48)2797
- 重文:木造普応国師坐像 県指定文化財:庫裏、木造業海本浄和尚坐像、木造釈迦如来坐像 ほか9件



りっ しょう じ 立正寺

奈良仏教の寺院に始まり、真言宗の巨刹となり末寺が数百もあったという。広大な寺域にその面影がある。日蓮が勝沼で立正安国論を講じた際、改宗し立正寺とした。地名「休息」は日蓮が足を休めたことに由来する。

- 甲州市勝沼町休息1713 ■0553(44)0462
- 県指定文化財:山伏笠



けい とく いん 景德院

勝頼が自刃した武田一族滅亡の地。徳川家康がその菩提を弔って建てた寺院。勝頼と夫人、嫡男の「生害石」3つが並び、甲将殿には家臣団の位牌や遺品などを保存、甲将殿の裏に勝頼公ら3人の墓がある。

- 甲州市大和町田野389 ■0553(48)2225
- 県指定文化財:山門附木造羅漢像 県指定史跡:武田勝頼の墓、境内



さん こう じ 三光寺

1400年以上前、仏教を布教していた秦河勝が、聖徳太子が自ら彫った「南無仏の太子」を納め開いた寺院という。境内には聖徳太子堂や樹齢600年の大杉がある。本堂の裏の庭園は桃山時代に造られたという。

- 甲州市勝沼町菱山928 ■0553(44)0402
- 県指定名勝:庭園



かん だてんじんじや 菅田天神社

承和9年(842)、甲斐国司の藤原伊勢雄が創建。寛弘元年(1004)には菅原道真を祀り、菅田天神と呼ばれるようになる。楯無鏡は甲斐源氏の祖・新羅三郎義光以来武田家が受け継いだ宝物(非公開)。

- 甲州市塩山上於曾1054 ■0553(33)4006 ■国宝:小椋韋威鏡(楯無鏡) 県指定天然記念物:カシ群

P 37





す わ じん じゃ
諏訪神社

本殿の周囲には華麗な技で竹林の七賢人、昇り竜、下り竜などの彫刻が施されている。甲州街道の三本杉の一つに数えられた巨木の切り株がある。本殿裏のホウの木は「たたりのホウの木」と呼ばれている。

- 甲州市大和町初鹿野1683
- 県指定文化財:本殿



だい ぞう きょう じ
大蔵経寺

養老6年(722)に行基が創建。応安3年(1370)、甲斐守護・武田信成が伽藍を修造。足利義満の子・観道が入山し大蔵経を奉納した。徳川家ともゆかりが深く、徳川家康秘蔵という「三面大黒天」などの宝物が残る。

- 笛吹市石和町松本610
- 055(262)2100
- 重文:絹本著色仏涅槃図 県指定文化財:絹本著色両頭愛染明王像 ほか3件

甲斐石和温泉



- 恵比寿神 常徳寺 石和町東高橋
布袋尊 常在寺 石和町唐柏
弁財天 蓮朝寺 石和町小石和
毘沙門天 恵法寺 石和町四日市場
大黒天 遠妙寺 石和町市部
福祿寿尊 佛陀禅寺 石和町市部
寿老尊 大蔵経寺 石和町松本



か な い か り じん じゃ
金井加里神社

大永3年(1523)の建立とされる。本殿は寛文8年(1668)に再建されたもの。3間社入母屋造、正面に千鳥破風と向拝1間をつけた異様な建築。細部の手法や意匠などにも独特な様式が見られる。

- 甲州市塩山下小田原1016
- 県指定文化財:本殿 附棟札



か ん べ じん じゃ
神部神社

岩間明神、湯山明神とも呼ばれ、岩間から霊泉が湧き湯山を作ったという。今も岩間温泉として残る。延喜式内社の一つとされる。春祭りでは金井加里神社の神輿とぶつかり「けんかまつり」と呼ばれた。

- 甲州市塩山上萩原1415
- 県指定文化財:本殿、隨身門

く ま の じん じゃ
熊野神社

大同2年(807)、紀州熊野より勧請され建立、さらに後白河法皇の勅により熊野本社に則って社殿を整備したという。境内を高低3段に分けている。所蔵する絵画は武田家から奉納されたといわれる。

- 甲州市塩山熊野174
- 重文:拝殿、本殿 県指定文化財:紙本著色渡唐天神像 ほか3件



お ん みょう じ
遠妙寺

謡曲「鶺鴒」の舞台。鶺鴒の翁の亡霊を日蓮が3日3晩の川施餓鬼によって成仏させた物語。この時、日蓮が作った塚が遠妙寺の始まりという。境内には鶺鴒翁の供養塔、仁王門には力強い仁王像が安置されている。

- 笛吹市石和町市部1016
- 055(262)2846



じ げん じ
慈眼寺

鐘楼門の裏面に彫られた牡丹、菊、ハス、びわの彫刻が美しい。茅葺きの本堂と庫裏、鐘楼門は江戸前期の建造物で合わせて重文。文化財のほか、貴重な歴史資料となる多くの古文書が残されている。

- 笛吹市一宮町末木336
- 0553(47)0915
- 重文:本堂・鐘楼門・庫裏 県指定文化財:紙本著色星曼荼羅、刺繍法華経、紙本墨書梵書法帖



こ く ぶん じ
国分寺

天平13年(741)、聖武天皇の詔により国分尼寺とともに諸国に建てられた官寺の一つとして創建。現在の境内から北東へ徒歩4分のところに甲斐国分寺跡があり、諸堂の礎石が残る。本堂など建物は市指定文化財。

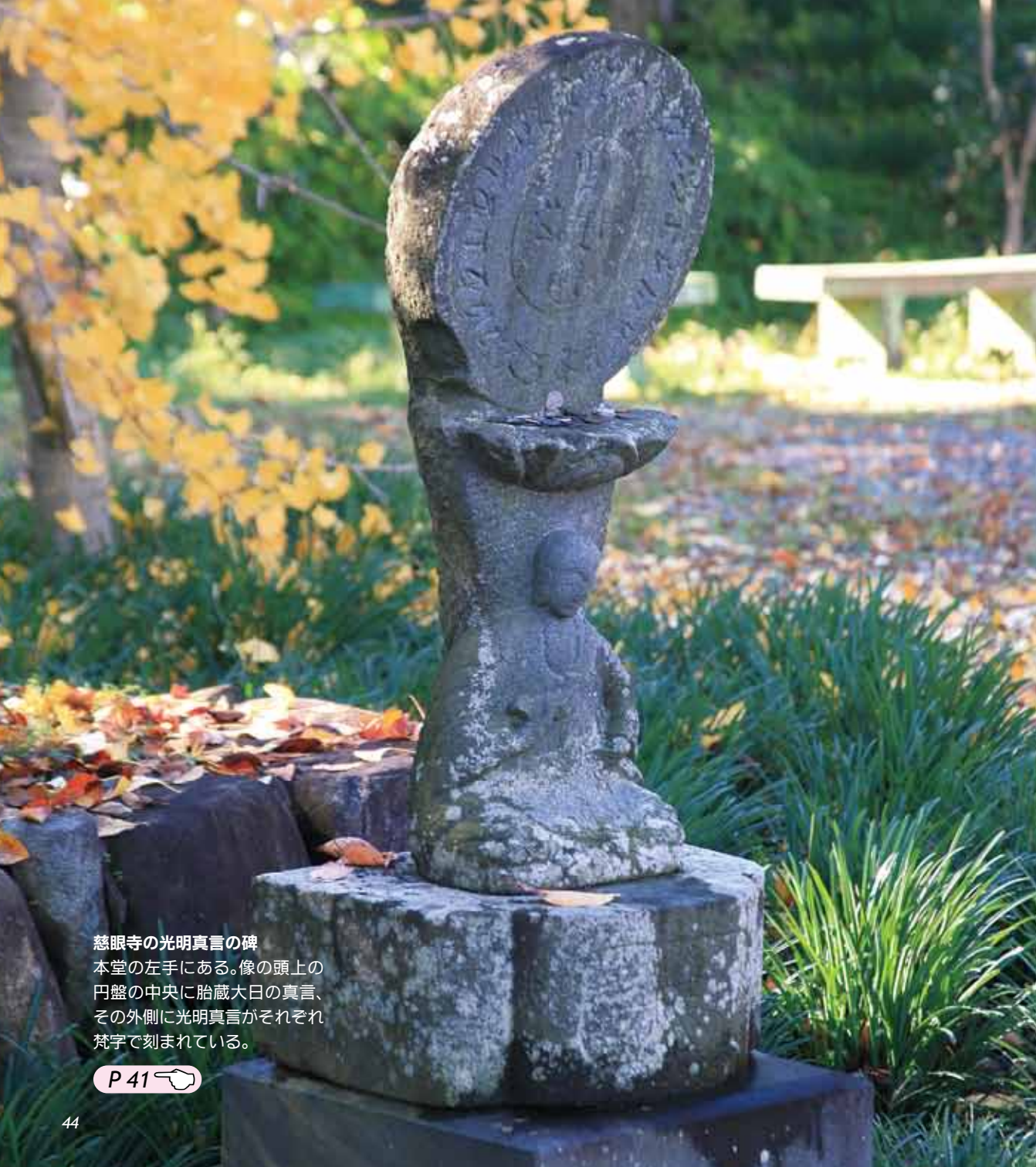
- 笛吹市一宮町国分196-1
- 0553(47)0902
- 国指定史跡:甲斐国分寺跡・甲斐国分尼寺跡



こう こん いん
広 巖 院

寛正元年(1460)、高僧・雲岫宗竜うんしゅうしゅうりゅうが開いた。大泉寺とともに甲斐曹洞宗をまとめる役を担った巨刹だった。巨大な本堂と壮麗な鐘楼。境内の保育園から園児の歓声が届く。霊亀の伝説も(P25参照)。

- 笛吹市一宮町金沢227-1
- 0553(47)3609
- 県指定文化財：銅鐘、広巖院文書36点



慈眼寺の光明真言の碑

本堂の左手にある。像の頭上の円盤の中央に胎蔵大日の真言、その外側に光明真言がそれぞれ梵字で刻まれている。

P 41



福光園寺の吉祥天坐像


古代豪族・三枝氏が国衙勢力復興を祈願して造った。蓮慶の弟子・蓮慶の作。吉祥天像で坐像なのは全国的にも類を見ない。両脇に持国天と多聞天の立像がある。

拝観には事前の連絡が必要。

P 48

聖応寺の鐘楼

仏殿の右手、やや登った先にある茅葺き屋根の鐘楼。

 P 48





ふっ こう おん じ 福光園寺

保元2年(1157)、領主・大野重包が中興開基した。甲斐源氏に押された地元の豪族・三枝氏が勢力の復興を願って造ったのが吉祥天像。香王観音像は奈良時代の僧・行基の作と伝えられている。

- 笛吹市御坂町大野寺2027
- 055(263)4395
- 重文: 木造吉祥天及二天像 県指定文化財: 木造香王観音立像

P 45



しょう おう じ 聖応寺

康暦元年(1379)の創立。かつては七堂伽藍が並ぶ巨刹だったが、今でもその面影が見られる。入口のかえで橋から杉の大木に囲まれた参道、江戸期の様式美を誇る山門、仏殿までが一直線に並ぶ。

- 笛吹市境川町大黒坂1090
- 055(266)4544

P 46



しょう がん じ 称願寺

正応5年(1292)に開かれた時宗の寺。諸国を遊行して布教に努めた時宗の二祖・真教が甲斐の国で開いた。境内には樹齢500年ともいわれるショウガンザクラと呼ばれる桜の珍種が枝を広げている。

- 笛吹市御坂町上黒駒2969
- 055(264)2132
- 重文: 木造他阿真教坐像 県指定天然記念物: ショウガンザクラ



ひ え じん じゃ 比枝神社

創建の詳細は不明だが、江戸時代までは山王権現と呼ばれ、地域の産土神として崇敬されてきた。明治以降に比枝神社とされ、昭和36年(1961)、地内に温泉が湧出。石和温泉郷の守護神でもある。

- 笛吹市石和町川中島534
- 駐車場無し



い さ わ は ち ま ん ぐ う 石和八幡宮

建久3年(1192)、この地の守護職となった武田信光(信玄の14代前)が鎌倉鶴岡八幡宮を勧請して国衙八幡、のちに石和八幡と改めた。春の例大祭には、笛吹川河川敷で流鏝馬が奉納される。

- 笛吹市石和町市部1094
- 055(263)8261



み わ じん じゃ 美和神社

景行天皇の頃、日本武尊の命にて甲斐国造塩海足尼が、奈良の大神明神から勧請した古社。大祭・三社御幸「おみゆきさん」(P19)の甲斐国二宮。2月8日には青笹で湯を振りかけ無病息災を祈る湯立祭も。

- 笛吹市御坂町二之宮1450-1
- 055(262)2618
- 県指定文化財: 板絵著色三十六歌仙図、白糸威褌取鏡(残欠)、朱札紅糸素懸威胴丸佩楯付、太々神楽



こう さい じ 広濟寺

入口には大きな門と笛吹市指定天然記念物のヒイラギがそびえる。応永16年(1409)、信玄の7代前の武田信春が中興した禅寺。鐘楼は江戸末期の建築。梅の木が並ぶ参道からは甲府盆地を望める。

- 笛吹市八代町奈良原865
- 055(265)4197



ゆ か じ 瑜伽寺

山門は柱の頭に冠を乗せている冠木門。県内では最古の仏像とされる奈良時代の塑像の断片が発見され、甲斐の仏教文化の水準の高さを示す資料に。瑜伽はヨーガにつながる言葉で、他に例のない寺名という。

- 笛吹市八代町永井1543
- 055(265)2259
- 県指定文化財: 木造如来形坐像、木造十二神将立像



じょう りん じ 定林寺

山門から五重塔、カヤの大木、本堂が並ぶ。日蓮の法力に感銘を受けた郷土の早内左衛門が、弟子になり屋敷を寺にしたもの。双子塚は妊婦を守護し、脇のサワラの木の穴に置かれた石は子宝を授けるといふ。

- 笛吹市八代町南747
- 055(265)3705

P 52



かい の く に い ち の み や あ さ ま じん じゃ 甲斐國一宮浅間神社

垂仁天皇の頃、現在の山宮神社の地に祀られたのが始まり。貞観7年(865)に現在地に移った。甲斐國一宮の山宮神社は現存し、摂社になっている。「おみゆきさん」(P19)と呼ばれる大神幸祭の一宮。延喜式内社の一つとされている。初詣には長蛇の列ができる。

- 笛吹市一宮町一ノ宮1684
- 0553(47)0900
- 重文: 山宮神社本殿、紺紙金泥般若心經 県指定文化財: 太刀2件 県指定天然記念物: 夫婦ウメ



境内の山宮神社の方角には、遙拝所がある。



山宮神社



く ま の じん じゃ 熊野神社

7世紀後半に紀州熊野神社より甲斐國八代荘に勧請されたと伝えられる。社宝の「長寛の勅文」は、甲斐守らが熊野神社社領の横領を企てた事件の記録で、平安時代後期における国衙と荘園の対立を伝える貴重な資料。

- 笛吹市八代町北1615
- 県指定文化財: 絹本着色熊野曼荼羅 附桐箱、銅鏡
- 駐車場無し

山梨岡神社のフジ

5月上旬に、境内を覆うように美しい花を咲かせるフジ。笛吹市指定の天然記念物。



やまなし おか じん じゃ

山梨岡神社

古くは山梨明神と呼ばれ武田家代々の祈願所として栄えた。信玄の戦勝を祈願して奉納されたことに始まったとされる太々神楽は県指定の無形民俗文化財。延喜式内社の一つと伝わる。石和温泉駅から徒歩20分。

■ 笛吹市春日居町鎮目1696

■ 重文:本殿



県名の由来と不思議な神像

2000年以上昔、神代の時代の崇神天皇(10代)のころ、疫病が流行し災害が多発したため、天皇の勅命により御室山の中腹に創建された神社。その後、成務天皇(13代)の時代に、麓のヤマナシの群生林を切り拓いて遷座し、山梨岡神社と名付けられた。この名が県名の由来となったという(山を開いた「やまならし」から、など由来には諸説ある)。

この神社には奇妙な神像・夔神が祀られている(通常は非公開)。全国で唯一この神社だけが祀る神で、牛のような体で角はなく、緑色で一本足。そのご利益は雷除け、魔除けとされ、江戸時代にはその姿を神札(版画)にして江戸城大奥へも献上したという。



「山梨郡山梨岡神社千神之図」山梨県立博物館所蔵



定林寺の毘沙門天と五重塔
夜9時頃まで、山門の毘沙門天と持国
天がライトアップされている。

P 48

■ 笛吹・甲州・山梨エリア

ちよつとより道

国内屈指の渓谷美
西沢渓谷



テーマは「山梨の自然と人」
県立博物館



笛吹市御坂町成田1501-1
☎055(261)2631



埼玉県



ワイン200種類を貯蔵
ぶどうの丘

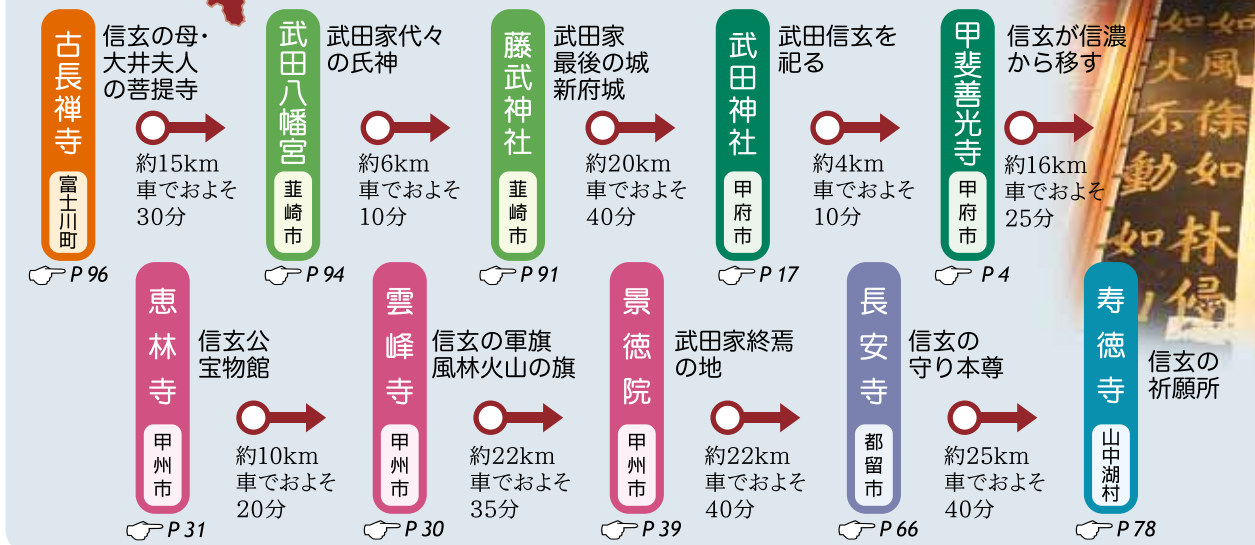


甲州市勝沼町菱山5093
☎0553(44)2111

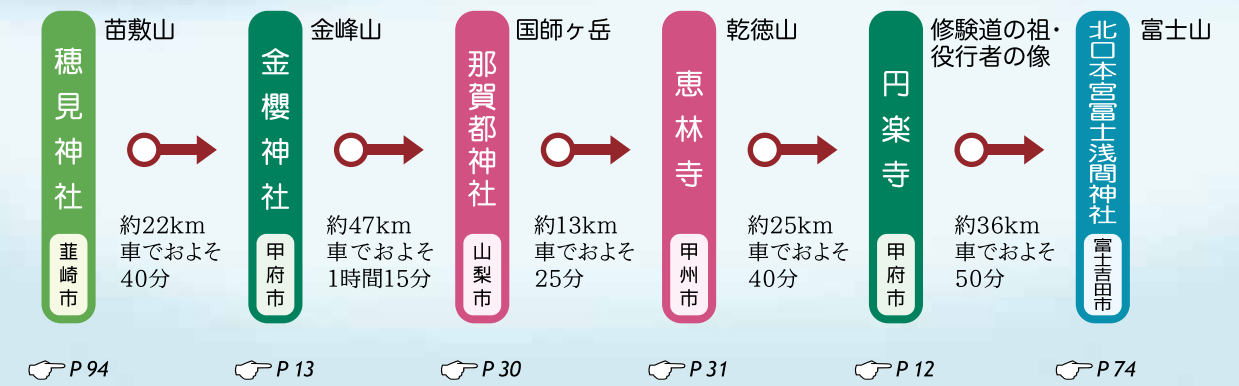
■ 笛吹・甲州・山梨エリア モデルコース
桃源郷遠望と桃の花見散歩



全県ワイド 武田氏の栄枯盛衰を訪ねて



全県ワイド 山岳信仰の寺社めぐり



全県ワイド 名刹の花めぐり

